



昭和49年  
11月 号

発行所 東郷町役場  
編集人

# 花を咲かせましょう

## まず一袋の種子を庭先に

爽涼の秋、野山の木々は色づきを始め、深まりゆく秋の気配も一日と美しさをまわしていきます。県道人吉一日向線の仲深橋バス停付近では先月、道路わきや農家の庭先に色とりどりのコスモスが咲き乱れ、通りゆく人たちの目を楽ませてくれました。毎月読後感をいただいている日向市の石川茂夫さんも、このコスモスのこともふれておられました。

このコスモスは近所の三浦イチさん(ハニ)、荒砂キクさん(ハニ)たち数人が五年ほど前から種子をまき苗を植えているもので、ほかにカンナやキクなどもあります。

このほか町内では東郷小学校や鈴峰園、西城公園などに四季の花がみられ、役場庁舎にも職員がサルビヤなどを咲かせています。

町民歌の三番に「野山の幸にいだかれて、人の心もほがらかに」という歌詩があります。わたしたちの町は美しい自然に恵まれています。これは祖先の残してくれた緑や青の落ち着いた自然です。これに赤や黄色などを配色したらもっと変化のある、明るい自然がつくり出せるでしょう。

新生活運動の中でも「花いっぱい運動」がとりあげられています。自分の家の庭に花の種子一袋をまいて育ててみてはいかがですか。「花を愛する人に悪人はいない」とか。町の花である尾鈴寒ランも今美しい花をつけ、高貴な香りをふりまっています。

春は山さくらにつつじ、秋は紅葉が美しい郷土ですが、住宅の庭先にもぜひ花を咲かせましょう。



第三日曜日(十七日)は家庭の日

○……………として保存しましょう……………○

### 点滴



#### たばこの火

月初めはまだありませんが、感覚としてはいかにも冬らしくなった感じがです。生活の習慣も冬型へ切りかえどきでしょうか。

▽これから火災シーズン。火災原因のもっとも多いのがたばこによるものであり、昭和三十五年以来、火災原因のトップを占めています。たばこは、人間にいくつかの功罪を与えています。ときには人の気持ちを和らげ、ときには精神的な疲労を忘れさせます。また、食後の一服には格別の味があるものです。▽しかし、この一服も「今捨てたばこの温度が七百度」といわれているように、モノが火災のタマゴであるだけに、うっかりすると大変なことになります。たばこによる火災は、いずれも喫煙者の不注意、不始末によって生じているので、防火の再認識が一層強く望まれます。

かへり来て家の背  
戸口わが袖の落葉  
松の葉をはらふゆ  
うぐれ 牧 水

# 町民ガイド



「役場に相談に行きたいが、どうも役場はにが手だ」「どこへ行ってもいいかわからない」——そうした町民みなさんの声をよく耳にします。

役場の機構が大きくなり行政の種類・内容が複雑にふくれているとはいえず、町民あなたこそが行政の主体。そこで、こうした声をみたく手引きとしてこのページを特集しました。

赤ちゃんからおとしよりまでの人生。この長い間をわたしたちそれぞれは、健康で明るく送りたいたいです。そこで、町が手続きをしたり、実施している社会福祉の窓口をご案内することにします。

## 生まれる

妊娠した場合には、すみやかに医師または助産婦の発行する「妊

娠証明書」を持って町役場窓口においでください。届け出をすると母子手帳を交付します。

母子手帳には乳幼児の健康状態を記入できるようになっていますので、将来育児のよい資料となりまた両親にとってもよい記念になります。

町民税の所得割額が四千八百円以下の母親に対して、届出の翌月からママミルクが支給されます。

## 生まれた

母親が国民健康保険に加入していれば、助産費が二万円支給されます。また、出産後育児手当金として月額五百円が三ヶ月間支給されます。

## 子ども

元氣な子どもを育ててほしい！と、この四月から三歳児までの入院費助成にふみきました。

## 乳幼児検診

毎月一回、生後三カ月の赤ちゃんの健康相談を町老人福祉館でひらいています。

また、満一歳までの乳児を対象にして年二回、三歳児は年一回無料検診をしています。

## 予防接種

伝染病にかからないようにするため、町ではつぎの予防接種を無料で行なっています。

- ▼小児マヒ生ワクチン：満一歳未満の子どもに対して毎年二回投与
- ▼ジフテリアと百日せき、破傷風：混合の注射を生後三ヶ月以上の子どもは三回、翌年に一回、ジフテリア：小学校入学前に一回、小学校卒業前に一回の計二回。
- ▼種とう：生後三ヶ月以後に一回小学校入学前に一回、小学校卒業前に一回の計三回。——これらはすべて無料。

希望によって有料で日本脳炎、

インフルエンザ予防接種も実施されます。(中学生以下は無料)

## おとな

おとなの病気といえは成人病と返ってくる現代。町では、年とともにふえる高血圧や心臓、ガンなどの予防と早期発見をめざして四十歳から六十四歳までの「成人検診」に力を入れています

国民病とまでいわれるようになったガン。このガン撲滅のため年二回の胃ガン検診と年三回の婦人ガン検診を実施しています。

## 老人福祉

老後の明るい豊かな生活にはまず健康が第一です。

これまでの老人健康診査に加えて老人医療費を助成しています。

また、必身の障害のために日常生活を営むことのできないおとしよりのために、老人家庭奉仕員二人を配置しています。

## 町民心配 こと相談

なごなごやかな日常のくらし。そんな毎日の中でフト暗い影を落とすことがあります。こどもの非行・家庭内のイザコザ・病気で生活が苦しい・交通事故を起こした。土地問題で困まっている……などなど。

このような多くの心配ごとや悩みごとについて、専門家や民生委員が相談に応じて解決に努力するのが「町民心配ごと相談所」。

毎月月上旬に役場となりの老人福祉館でご開設しています。

相談日以外の日でも町社会福祉協議会で受付けています。秘密は固く守られ、お金もいっさいりません。また、あなたのお近くの民生委員にもご相談ください。

## そうだん室

### ひみつ守る無料

憲法で、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として保障されています。人権相談は、この人としての権利が侵された場合、その被害者から相談を受けて救済をはかろうというもの。

不当な圧迫を受けたり、いやがらせをされるなど困っている人があれば年1回の人権相談所においでください。毎月ひらく町民心配ごと相談所でも人権相談に応じます。

町内では、小野田の福良善勇さん、寺迫の高野敏男さん、坪谷の山本源宗さんの3人が人権相談員です。

## 行政相談

国や県の行政について、不満やナットクのいかないことの相談に応じます。許可や認可の取扱い・恩給や年金受給・失業、労災保険・公共事業など行政一般の問題についての相談を受けます。

本町の行政相談委員は、小野田の塩月儀市さんです。

## 窓口

あんない

### ●出生したとき

出生後十四日以内に、出生届用紙に医師または助産婦の証明をもらって役場へ届け出る。町に本籍があれば一通、必要。持参物は印かん、母子手帳。

### ●死亡したとき

死亡後七日以内に、死亡届用紙に医師の証明をもらって役場へ届け出る。町に本籍があれば一通、ない場合は二通必要。ほかに印かん、国民年金手帳、保険証を持参。

### ●結婚したとき

夫妻とも町に本籍がある場合は一通。いずれか一人あれば二通。夫妻とも町外の場合は三通の婚姻届が必要。二十歳以上の証人二人の署名押印と夫妻の印かん、旧姓の印かん。本籍地でない人は戸籍抄本二通。転入者は転出証と書一通を持参。

### ●転出するとき

他市区町村への転出にあたって

は、印かん、国民健康保険証、国民年金の保険料納付通知書を持参。一世帯全部が転出するときは町税の納税通知書も必要。転出先番地や世帯主も明示。

●転入したとき

転入の日から十四日以内に届け出る。世帯主または本人の転出証明書と保険証、国民年金手帳を持参。

### ●印鑑登録

登録は、本人みずから役場に行つて、役場備付の印鑑簿に押印してその印鑑を届け出る。

止むをえず本人が役場へこれないときは、本人署名の申請書に、成年者二人が連署、押印した保証が必要。保証人の印鑑も本町に登録済みのもの。委任状に五十円の証紙をはり、印章を添える。また保証人が代理人を兼ねられない。

### ●印鑑証明

一方、印鑑証明書請求の際には本人が出向くのが原則。ただし、止むをえない場合は、本人が署名押印した委任状に五十円の証入証紙をはった申請書を代理人に託してもよい。実印を持参。

### ●国民健康保険の加入と脱退

つとめ先で健康保険に加入している人以外はすべて国民健康保険

に入らなければならない。会社などを退職したときはすぐに必要。持参するものは、印鑑と社会保険をやめた証明書。

一方、つとめに出て会社の健康保険に加入したときは、印鑑と町国民健康保険証、それに新しい保険の保険証をもって脱退の手続きをすること。

### ●国民年金

二十歳から六十歳(ただし、明治四十四年四月二日以降に生まれた人)までの人で、公的年金などの年金制度に加入していない人は必ず加入しなければならない。

公的年金制度によって保証を受けている人や配偶者などは一応除外されるが、希望によって任意加入できる。

手続きに必要なものは、印鑑、以前に加入したことのある人はその国民年金手帳。やめる際の手続きは、印鑑、国民年金手帳。それに公的年金制度に加入したことを証明するものとして、健康保険の保険証を持参する。

### ●おもなものの手数料

いずれも一件についての金額

□公簿・図面の閲覧五十円。印鑑証明五十円。戸籍の謄抄本七十円。住民票の謄抄本五十円。資産証明五十円。諸税証明五十円。地図写五百円。

## こんな相談はこの課へ

- 町営住宅に入居したい。交通事故で被害を受けた。総務課
- 町や部落などの世帯、人口、耕地面積、学校などの統計数字を知りたい。消費生活における苦情や公害。企画開発課(電)五六一三
- 町税に対して不満やわからない点がある。税務課(電)五六七七
- し尿くみとりの申込み。簡易水道の給水を受けた。ねずみ、カ、ハエ、ごきぶりなどが多いの

## 各種資金の貸付け制度

- ▼農地取得資金 農業経営者を対象に最高二百万円を貸付け。年利三・五%で二十五年以内の償還町農業委員会が扱う。
- ▼自作農維持資金 農業を営む人が相続やその維持について必要とする資金で最高五十万円。年利五%で二十年以内償還する。町農業委員会が扱う。
- ▼林業経営改善資金 造林のための土地取得に必要な資金で、二百万円(特認四百万円)が限度。利率は年三・五%。償還は二十五年以内。町森林組合が扱う。ほかにも造林、林道資金などがある。

## 社会福祉資金

- 町社会福祉協議会の三資金制度は老人福祉館内の事務局まで。
- ▼たすけあい資金 香典返しや一般寄付金をもとにした基金で、期間は十カ月以内。無利子で二万円以内貸付け。二十二万円のワケ。
- ▼町母子福祉資金 町母子福祉会に三十万円を委託して、母子会員に利用させている。十カ月以内の貸付けで無利子。二万円が限度。
- ▼県社会福祉協議会貸付金 世帯更生資金と母子福祉資金の二つ。貸付限度は月三千円から五十万円まで。返済は六年から二十年までとまちまち。利率は三%で修学資金は無利子。



# トビックス

## 秋!!運動会たけなわ

団技になばとり競争も飛び出す

秋はスポーツシーズンでもあり町内では小・中学校の体育大会に加えて、町民体育祭も盛大に開かれました。

町民体育祭は町体協主催で十月二十日に開かれました。前日の雨で町営グラウンドが使用できないため、会場を東郷小学校のグラウンドに変更したので、進行が遅れましたが、多数の町民が参加してなごやかに競技がくりひろげられました。努力賞は福瀬公民館が三年連続受賞しました。

また、坪谷中の体育大会団技ではナバトリ競技がユーモラスに行われ、本町ならではの競技に会場は大にぎわいでした。

## 庭田地区にバス開通

日の丸の小旗に迎えられる

十月一日から寺迫区の庭田地区に、日向行きと高鍋行きのバスが一日に三往復それぞれ通るようになりました。長年にわたる念願がかなった地元では九月三十日に開通式が盛大に行なわれました。

この日は地元民三百人が手作りの日の丸の小旗を手にして迎えるなか、第一号バスが通りました。会場には来春寺迫小に入学する黒木直子さん、黒木秀明君らの顔も見られ、秀明君の母咲子さんは「秀明の姉二人も五・離れた寺迫小に通学しているが、毎朝六時十五分に家を出ている。雨の日や冬の間はたいへんだが、バスが利用できれば交通事故の心配もなく安心です」と話していました。



日向電報電話局

## 奥さん、加入されましたか

—「妻の座」に有利—

厚生年金や各種共済組合などに加入している人の奥さん(二十歳から五十九歳まで)は、希望すれば国民年金に加入できます。希望加入となつてゐるのは、ご主人の年金が一応の加入があるからです。

ところが、奥さんご自身の年金ではないため、老後の保障は充分ではなく、もし病気やケガで障害者になつても、

何の保障もありません。

〔わたし半人前〕  
厚生年金や共済組合などの年金は、職場で働く人たちの年金です。家庭に居る奥さんは、そのついでにすぎないわけです。年金の上では、半人前ということになります。

□それぞれの年金で  
ご夫婦そろって年金をうけ、豊かな老後を過ごすため、ぜひ国民年金に加入されることをおすすめします。

そして、ご主人は厚生年金などの職場の年金、その奥さんは国民年金とそれぞれの年金を受けることになるわけです。

### こんなに得です!!

	国民年金に加入する	国民年金に加入しない
としをとったとき	国民年金の老齢年金 25年のとき月23,220円 ±夫の老齢年金の加給 年金	夫の老齢年金 の加給年金
ご主人が死亡したとき	国民年金の母子年金 18歳未満の子1人のとき 月23,220円 ±遺族年金	遺族年金
病気やケガをしたとき	国民年金の障害年金 1級のとき月29,025円 2級のとき月23,220円	なし

## 国体に参加

十月二十日から二十五日まで茨城県で開かれた第二十九回国体秋季大会に、本県選手団の一員として本町から二選手が参加し、健闘しました。

▽松村喜博さん(三三)東郷中学校の先生で、陸上競技教員千五百に出席。

▽中田仁美さん(三三)本町相撲部監督で、一般相撲に出場。中田さんはことしの県体で優勝しており自ら選手として活躍をつづける一方で、本町相撲部の監督として、昨年からの指導をつづけており、こ

## 第二回相撲選手権大会

十一月三日に町営グラウンド内の土俵で、第二回東郷町相撲選手権大会が開かれます。これは文化祭行事の一つとして町相撲連盟が行なうものです。

## 電話の門前払い

あとひと言と思つたとたん、受話器を「ガチャン」こう乱暴に受話器を置いたのでは、今までのあなたの電話イメージはいっぺんにふっ飛び「みかけによらず。なんと乱暴なやつだ」と思われるのが

オチでしょう。早い話が、お客さんが帰ったあと玄関の戸を「ああせいせいした」ガチャンとやるようなものです。電話の切り方にもマナーがたいせつです。

「終りを慎むこと始の如くなれば則ち敗事なし」ともいいます。姿が見えない電話だけに「ガチャン」という音は、特に不快音として相手に残るものです。

話しが終つたら、相手の方が受話器をかけてから静かに置くよう心がけましょう。

乱暴に置くと、受話器がはずれてお話し中の状態になりますと、たいせつなお客様に門前払いをくわすことになりかねません

日向電報電話局

## 若山 牧水

—その歌とふるさと—

今度、東京の講談社から黒木晩石さんの著作になる「若山牧水—その歌とふるさと」が出版された。

著者の黒木晩石さんは日向市美々津生れの人で、大正十一年早大専門部の政経科を卒業し、報知、読売新聞の統一部長、論説委員などを歴任され、昭和二十六年まで在社。その後、郷里にあつて「新みやぎ新聞」を経営され、今日に至つては「この間」小村寿太郎

「秋月左津夫その生涯」と文藻などの大著がある。新聞人だけでなく、歌集「生きたるこころ」詩集「道」を出している

詩人でもある。同氏の燃ゆるような郷土愛は熱烈としてそれ等の著作の中にみまぎつている。比類のない郷土愛の先輩として畏敬(いけい)しているところである。

美々津権現崎の歌碑の建設については、地元の人たちを説得し、牧水先生の若い時代に最も親しんだ美々津に歌碑のないことはいかにも淋しいことだと力説し、東奔西走してついに「海よかれ水平線の駒(くろ)みより雲よ出て来て海わたれかし」の歌碑が建立された。

黒木さんが牧水研究の病みつ

## 随想 長

きとなつたのは、もちろん郷里人としての敬愛からであつたらうが、昭和三十六年の牧水祭の記念講演で講師をされた時からのように思われる。この時の講師に誰を招くかについて故黒木松美元村長と相談した結果、牧水先生と同じ美々津川の水を飲んで育つたふるさと人として、黒木さんに依頼したのである。それが今度の著作につながつたものと思う。

牧水先生に関する著作はいろいろあるが、県内の人々の著作は宮大長嶺宏教授の「若山牧水」宮日新聞の塩月真さんの「若山牧水物語」などがある。後者は新聞に発表されただけでいまだ刊行されていない

黒木さんのこの本に序文を書かれた大悟法利雄さんは「随所に氏の鋭い史眼、鑑賞眼が光つており、大きな感銘と示唆を与えた」といい、黒木県知事も「深い愛情と敬仰と熱意を以て描き刻み、その人の真姿を後生に伝えてゐる」と述べておられるが、まさにそのとおりである。

牧水先生の生れたふるさとを私たちがふるさととして

この感激と喜びをしっかりと胸に抱き、明日への希望と誇りを持ちながら、このふるさとを守り、さらにふるさとの発展に努力をしなければならぬと思う。

## 郷土のあゆみ (23)

塩月 儀市

### 十一、明治時代(八)

羽坂沖水流の田八町四反の耕地整理が行われたのは、明治四十二年と四十三年です。当時はすべて人力での作業ですから二か年の歳月を要しました。

本町も明治四十年代に入つて正条植、集合苗代が行われるようになり、二毛作も奨励されました。稲の在来種(しな坊主、肥後坊主、平吉坊主、河内、あか米)に代つて奨励品種(石割雄町、神力)などが作られるようになりまし

養蚕が本県で奨励されたのは明治六年ですが、その後遅々と進まず、明治十八年には先進地から実地指導者を招いて指導を受けたり、修業生を先進地に派遣するなどして奨励されました。繭の価格の低落などで成果はあがりませんでした。しかし明治三十年に我が国が銀本位制から金本位制になりましたので、我が国の金融市場が国際市場に直結することとなり、生糸の生産も躍進しましたが、本町の養蚕は至つて低調でした。

日露戦争後本県は米の増産と養蚕を強力に推進しました。このころになると、本町もようやく養蚕に関心を持つようになりまし

明治四十二年に初めて蚕業教師を雇入れて養蚕の指導当らせました。四十三年には稚蚕共同飼育所を設置し、四十四年には繭乾燥場を羽坂に建てて養蚕の奨励に意を注ぎました。

畜産は明治初年以來県は牛馬の改良に意を注ぎまして、明治二十五年には各郡に畜産牛馬組合(後の畜産組合)が設立されましたが、牛馬品評会やせり市を開きました。低調でした。

日向地誌によりますと明治初年ごろの本町の牛馬数は、牛一千五百頭、馬七百三頭です。

明治三十三年に産牛馬組合法が実施され、翌年県は専任の巡回教師を設置して牛馬の管理飼育法、護てい法などについて指導しました。

日露戦争で肉類の需要が激増して価格も上り、開戦前の二倍以上になりましたので、畜産熱が高まり、中国地方から種牡牛を購入して品質の改良をはかりました。豚肉の需要も日露戦争後著しく増加して、本町に豚が導入されたのもこの時代です。

明治四十二年に本町は牛の改良に意を注ぎ、オーストラリア産のシンメンタール種を購入して、町内の数名に補助金を出して飼育させましたが、良い成績はあがりませんでした。明治四十三年に本町で東白杵郡第一回の畜産品評会が開かれました。

### お知らせ



▽日程 12月12日開講式、各種検査(尿、血圧、身長、体重)、治療食調理実習、講義・1月21日治療食調理実習、健康体操

▽時間 午前9時30分から午後3時まで

▽受講料 無料

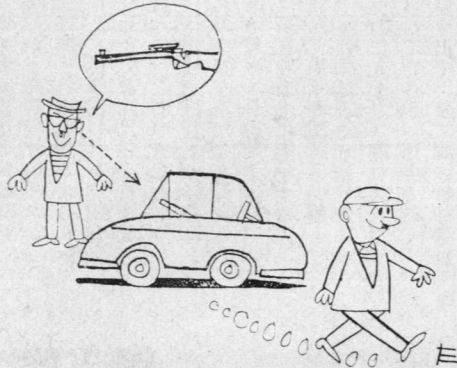
▽定員 三十人

### 健康教室の開講

最近太りすぎを気にする婦人が多いようですが、このたび町ではこのような婦人を対象に「健康教室」を開き、食事、保健指導などを行ないます。ご希望の方は十一月三十日まで町教育委員会へ申し込みください。申込み方法は電話、文書いずれでも受け付けます。▽場所 中央公民館

### 猟狩シーズン

銃の保管は責任持って



### 電気税の一部過収分の返還

九州電力では、このたび自治省から電気料の徴収にあたり、地方税法に定める方法により免税点の判定を行なっていないとの指摘がありました。したがって、今後は次のとおり取扱う旨の連絡があり

### 今月の納税

国民健康保険税 四期

納期 十一月三十日

ましたのでお知らせします。

九州電力からのお知らせ内容

一、四十九年十月度からは指示どおり取扱いを変更します。

二、過収分についてはお申出の有無にかかわらず、保存データから該当のお客様を調査のうえ返還させていただきます。

三、調査の終了したお客様から逐次電気料金より差引き返還させていただきます。

その際「電気税返還のお知らせ」により返還の内容をお知らせいたします。

四、管内のお客様の全部を調査するため、返還完了までには相当の期日を要しますが、できるだけ速やかに返還できるよう努力いたします。

### 郷土の本をあつせん

黒木晩石著「若山牧水」その歌とふるさとをあつせんします。購入申込みは役場内牧水顕彰会事務局まで。定価は一冊三千円。

### 善意のともしび

◆鶴野内区の寺田冬子さんから故久雄さんの忌明けに香典返しとして町社会福祉協議会にご寄付い

ただきました。

ここに慎んで故人のご冥福をお祈りしますとともに厚くお礼を申し上げます。

東郷町社会福祉協議会

### 町職員の仕事異動

十月十一日付で町職員の異動を発令しました。

▽議事事務局長(税務課長) 三浦淳▽住民課長(教育課長) 黒木勝▽教育委員会教育課長(税務課長) 那須幸雄▽税務課長(総務課長補佐) 小林鍊一▽農林課主幹(議事事務局長) 新名秋二▽鈴峰園主幹(鈴峰園長) 塩月景幸

▽総務課長補佐(総務課庶務係) 都甲哲郎▽税務課固定資産係長(農業委員会庶務課長) 矢野望▽出納室会計係長(住民課福祉係長) 橋口幸一▽住民課福祉係長(税務課固定資産係長) 山本一正▽企画開発課開発係長(住民課住民係長) 沖田征郎▽総務課財政係長(出納室会計係長) 黒木一希

▽農業委員会庶務課長(企画開発課開発係長) 小野三千樹▽住民課住民係長(鈴峰園指導員) 寺原弘勝

▽住民課保険衛生係(税務課固定資産係) 海野修一▽税務課固定資産係(住民課保険衛生係) 平野宇市▽国民健康保険病院(建設課管理係) 寺原恵▽建設課管理係(国民健康保険病院) 岩田定夫

### 戸籍だより

九月届出分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
奈須剛	究	鶴野内
矢野久貴	末宏	坪谷
水野俊之	藤雄	深谷
谷口健一	速美	福深
永野英彦	栄次	福深
酒井伸二	賢一	福深
黒木誠	和彦	福深
岡田文宗	一彦	福深

### ご冥福を祈ります

氏名	年令	部落
甲斐ケイ	七六	下渡川
山口シモ	八一	仲深
和田政市	八二	小野田
羽田文吉	七九	小野田
川口千代松	七〇	追野内
黒木熊吉	八〇	鶴野内

人口 49年10月1日現在 ( )は対前月比

男 3,410人 (+5)

女 3,645人 (-5)

総数 7,055人 (±0)

世帯数 1,794世帯 (-3)